

西置賜建設発生土改良センター 利用要領

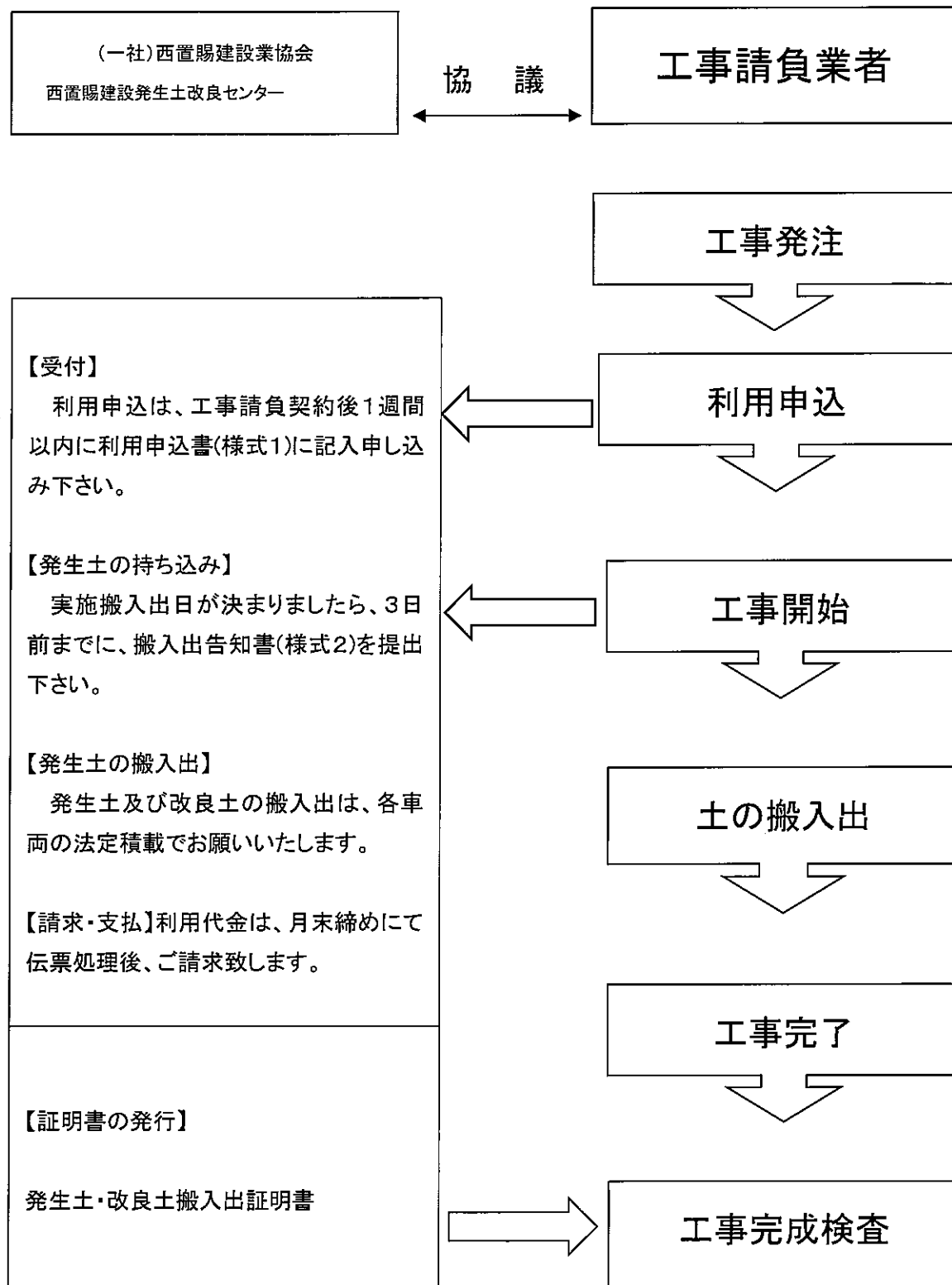
R7.4.改訂版

(一社)西置賜建設業協会

西置賜建設発生土改良センター

(一社)西置賜建設業協会

西置賜建設発生土改良センター 利用フロー図



(一社)西置賜建設業協会
西置賜建設発生土改良センター 利用要領

1. 営業範囲

置賜総合支庁管内

2. 処理能力及びストック量

(1) 処理能力170m³/日 (平均)

(2) スtock量:搬入土と改良土の合計stock量 15, 000m³(日の出)

10, 000 m³(滝野)

3. 営業時間

原則として、土・日・祝日を除く午前8時 30 分から午後5時までとします。

4. 発生土の種類及びその制限

(1) As塊・Co塊・木くず・ゴミ類及び金属等は混入しない事。

5. 改良土の取扱い及び割増率

(1) 搬出された改良土は、シート等で覆い、雨雪に出来る限り触れないよう養生して下さい。

(2) 改良土使用においては、工事目的に合うか発注者監督員との確認をして下さい。

(3) 転圧による体質変化率は、20%減少し、又、損失が5%見込まれるゆえ施工にあたっては、埋め戻し体質の1. 25倍の改良土が必要と思われます。

6. 改良土の品質保証及び管理

(1) 基本的には、室内CBRの値をもって改良土の品質保証とします。

(2) 品質管理は、改良土の室内CBR試験の結果を報告する事により行います。

(3) 試験頻度:自主検査1, 000m³毎に1回測定。

7. 改良材の種類

改良材は、基本的に生石灰を使用します。但し、発注者の指示によりセメント系でも可能ですが、六価クロム等溶出試験は別途計上願います。

8. 搬入出の検収方法(小国・滝野はトラックの種類による)

車両の種類	2t車	4t車	10t車	11t車(10tロング)
改良土の積載量(m3)	1.5	3.0	6.0	8.0

日の出:発生土の積載量はトラックスケールにて重量を測定し、土質によって湿潤密度を設定して、数量を算出致します。

200m3 以下のものに関しては 1.6 の換算係数で数量を算出いたします。

(参考)

土 質	シルト	密な粘土	ゆるい粘土	有機質土
湿潤密度(g/cm 3)	1.70	1.65	1.50	1.40

9. 1 日当たりの搬入許容台数

10t車で最大100台

10. 発生土受入及び販売価格

建設発生土受入れ価格

要改良土 <800kN/m2 5, 500円/m3 令和7年4月より

改良不要土 ≥800kN/m2 3, 000円/m3 令和7年4月より

改良土販売価格

第2種改良土 土場渡し ≥800kN/m2 900円/m3 令和7年4月より

現場着 ≥800kN/m2 2, 000円/m3 令和7年4月より